

秋田公立美術大学卒業・修了研究作品展 2019

カモステイク



■会期

2019年2月15日(金)-2月19日(火)

■会場

第1会場：秋田県立美術館 1階 県民ギャラリー ほか

第2会場：秋田市にぎわい交流館 AU 2階 展示ホール ほか

■開場時間

10:00 - 18:00 (最終入館 17:30)

※初日のみ 13:00 - 18:00 まで ※最終日のみ 10:00 - 17:00 まで (最終入館 16:30)

■主催

秋田公立美術大学卒業・修了研究作品展 2019 実行委員会

秋田公立美術大学／秋田公立美術大学大学院

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART



■アクセス

秋田県立美術館（秋田県秋田市中通一丁目 4-2）

秋田市にぎわい交流館 AU（秋田県秋田市中通一丁目 4-1）



・JR ご利用の場合

東京駅—秋田駅：新幹線 3 時間 37 分（最短）

秋田駅西口より徒歩 10 分

・旅客機をご利用の場合

羽田空港—秋田空港：約 65 分 大阪国際空港—秋田空港：約 85 分

中部国際空港—秋田空港：約 85 分 新千歳空港—秋田空港：約 55 分

秋田空港—秋田駅：バス 約 40 分

・自動車をご利用の場合

秋田自動車道秋田中央 I.C. より 10 分

※駐車場有：隣接しているなかいち駐車場をご利用ください。

一般利用者 1 台 1 時間につき 100 円 ※30 分まで無料

■広報に関するお問い合わせ

取材にお越しいただく際は、件名に「秋田公立美術大学卒業・修了研究制作展 2019 取材申込」とご記載の上、事前に下記連絡先までご連絡ください。また直接ご来場いただきました際にも、取材の対応をさせていただきます。

秋田公立美術大学事務局

[TEL] 018-888-8105（平日 8:30 - 17:15） [MAIL] gakusei@nts.akibi.ac.jp

■秋田公立美術大学について

秋田公立美術大学は社会の大きな変動に呼応し、古い概念にとらわれることなく新しい芸術領域の創造に挑戦する大学です。自然と伝統文化に恵まれた秋田の文化的資源を活用し、芸術のもつ可能性、公共性を探求し、秋田から全国、世界へと、自らの芸術的感性と創造性をいかす社会に貢献する人材を送り出します。

1. 新しい芸術領域を創造し、挑戦する大学

近代日本の芸術教育において、「日本画」「油画」「彫刻」「工芸」「デザイン」「建築」等の区分が固定され、西洋近代的なものと同様に日本古来のものが並行的に同居している状態を見直し、現代日本に合った価値観に再構成するとともに、新しい芸術的価値を生み出し、発信することに積極的に挑戦します。

2. 秋田の伝統・文化をいかし発展させる大学

「地方都市のアイデンティティを再発見し、新たな価値観を創出する」というビジョンと、「地域の多元化そして深化こそ豊かなグローバル文化を形成する」という理念に基づき、秋田における芸術創造と人材養成を実現することを通して、芸術の「地方分権」を先駆けます。また、秋田が歴史的に培ってきた伝統的な文化、生活様式、技術などを掘り起こし、その芸術的価値を再評価し、現代の秋田にいかすとともに、芸術・デザイン分野における新たな展開をもたらす、いわば地域のルネッサンスを目指します。

3. 秋田から世界へ発信するグローバル人材を育成する大学

再構成された芸術領域と地域の芸術・文化に対する深い理解や、「世界」に触れる機会・交流をもつことを基盤として、変化しつづける芸術表現の中で、アーティストあるいはデザイナーとしてその潮流をリードするために必要な、多様なルーツと出会い、価値の多様性を認め、共有できる柔軟な思考を持ち、新しい表現を模索しながらグローバルに活躍できる人材を育てます。

また、大学自体も、豊かなグローバル文化の形成を目指して、秋田に残る文化・芸術を再評価し、現代に通じるものとして復興しながら、先鋭的な芸術表現により世界に向けて新たな価値観を発信していきます。

4. まちづくりに貢献し、地域社会とともに歩む大学

公立大学の責務として、教員全員が自らの専門領域に由来する社会貢献事業を進めるとともに、県内外の大学、民間企業、小・中・高の各学校、美術館等の社会教育機関との連携を積極的に図りながら、地域ブランドの開発や地場産業の振興、芸術活動の展開などに力を発揮し、地域の活性化に貢献できる人材を育てます。

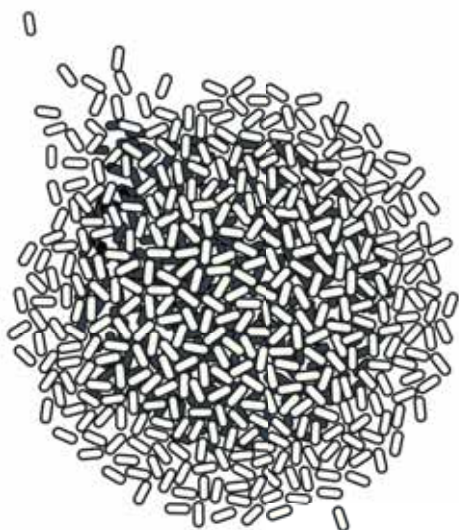
■複合芸術研究科とは

秋田公立美術大学大学院 複合芸術研究科は、新設の大学院として2017年4月に開学しました。

複合芸術研究科では、事象の成り立ちについて複合的に考える視点を持つことを基本とし、複数の既存の領域を横断した先に新しい領域を切り開き、アートや社会における諸問題に対してこれまでにない回答を提示することのできる研究・表現を目指します。

本研究科は少人数制で、アートやデザイン、工芸、社会学、情報学、アーバン・スタディーズなどの領域で個別の表現手法を修めた学生が集まり、それぞれが自身の専門性を活かしながら、いくつかの領域を横断し、それらを独自の方法で再構築することを試みています。また、複合芸術の実践として、カリキュラムにおいてはグループワークでの実習が設定されており、領域の異なる学生同士が対話を重ねて得た結論を実践へと結び付けます。

■秋田公立美術大学 卒業研究作品展



展覧会概要

《醸す、テイク。かもしていく。》

本展覧会は、秋田公立美術大学の学部生4年間と大学院修士課程2年間の学びを皆様にご覧いただける貴重な機会です。私たちは、既存のジャンルにとらわれない新たな領域を拓くため、様々な分野を組み合わせた表現手法を日々醸成してきました。その本学の「複合芸術」「領域横断」の可能性を、東北秋田に根付く醸造の過程になぞらえて、今年度は「カモステイク」というテーマを掲げました。私たちがそれぞれ醸しだした創造が、この展覧会を通じて何らかの変化や流れをもたらし、新たな交流や領域が展開されることを期待します。

専攻紹介



アーツ&ルーツ専攻

地域の歴史的な文化資源（ルーツ）の調査・研究を通して、その再評価の中から新たな芸術表現を探究する。「基礎理論」「作品制作」「フィールドワーク」の3つによって、地域の文化と歴史に根ざした主題・技法を学び、調査研究の成果を作品制作に活かします。



ビジュアルアーツ専攻

現代美術の新しい方向性を探り、様々な素材や媒体を通して現代的な表現を展開する。従来の素材や技法、表現形態にとらわれず、様々な媒体を使って現代的な作品を創ります。



ものづくりデザイン専攻

秋田の文化資源を背景に、人と人との豊かな関係を築く、ものづくりを提案する。世代を超えて愛されてきたものに備わる、文化的背景や価値観をふまえ、秋田から世界に向かって、新たな視点と価値を持った「もの」を制作します。



コミュニケーションデザイン専攻

多様なメディアを活用したビジュアルコミュニケーションを学び、効果的なデザインやアートディレクションを可能にする。グラフィックデザインによる様々な表現を幅広く習熟して、優れた伝達表現やデザイン全体を構築する総合的なディレクションを可能にします。



景観デザイン専攻

美しい街並や風景のデザインを通して、快適さとにぎわいにあふれたまちづくりを企画・提案する。まちづくりにおける課題を自ら発見し、ワークショップなどの演習を通して地域社会での実践力を養うことで、新たな提案を行うための、知識と手法を学びます。

■秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科 修了研究展



展覧会概要

私たち1期生は様々な領域の知識や技術、考え方と交わりながら個々の研究を深める中で、複数の問いを投げかけられてきました。異なる専門性を持つ相手にどのような話し方をすれば良いのか、チームの中で自分はどのような役回りをするべきか、どれくらい自分のやり方にこだわって良いのか、自分だけが持っている技術・考え方は何なのか、それぞれの専門性を持つエッジを残しつつ共にいることは可能なのか。はたしてその先に新たな創造の可能性を導き出せるのだろうか。

複合芸術研究科1期生による修了研究展では、このような問いかけの中で様々な要素と結ばれ、そして磨かれた9名の研究成果を発表します。異なるように思える個々の研究を観察し、9つの領域を横断した後に、ようやく「複合芸術」のかたちが立ち現れるでしょう。

協力：仲村 健太郎（グラフィックス）

工藤浩平建築設計事務所（会場構成）

出展者一覧

小木曾護／佐々木 香里／須賀 亮平／高橋 香澄／田中 夏鈴／田中 絢子／塚本 かな恵／蛭間 友里恵／藤本 悠里子

修了作品上映スケジュール 修了作品の上映を行います。

須賀 亮平《凧の国》上映スケジュール

①10:00～ ②11:20～ ③12:40～ ④14:00～ ⑤15:20～ ⑥16:40～

※初日のみ④から⑥ ※最終日のみ①から⑤

修了作品関連イベント 修了作品の秋田銀線細工を身に付けたあきた舞妓がステージで踊ります。

高橋 香澄《あきた舞妓を輝かす—銀の花々 秋田銀線細工—》ステージイベント

日時：2月16日（土）15:00 - 16:00 会場：秋田市にぎわい交流館 AU 1階 まち発見・発信ステーション

修了研究発表会 大学院生9名がそれぞれの修了研究についてのプレゼンテーションを行います。

日時：2月18日（月）18:00 - 21:00 会場：秋田市にぎわい交流館 AU 3階 多目的ホール

関連展覧会 修了研究に関連する展覧会が別会場でも開催されています。

藤本 悠里子《「応答」～SUMMER STATEMENT 2018 報告とその後～》企画展

会期：2018年12月15日（土）～2019年2月24日（日）9:00～18:00

会場：秋田公立美術大学ギャラリー BIYONG POINT（秋田市八橋南一丁目1-3 CNA 秋田ケーブルテレビ社屋内）

アーティスト：寺岡海、神馬啓佑、船川翔司、来田広大

■関連イベント

2月15日(金)

13:00～13:30 オープニングセレモニー

ご来賓の方々と一緒に展示会のオープニングをお祝いします。代表からの挨拶やささやかなパフォーマンスを予定しております。

会場：秋田市にぎわい交流館 AU 1階 まち発見・発信ステーション

14:00～15:30 ギャラリーツアー「カモス作品を見テイク」

秋田という地で醸された学生の作品を、本学の阪口正太郎教授と瀬沼健太郎准教授の2名を交えて鑑賞します。オープニングイベントの後、秋田市にぎわい交流館 AU・秋田県立美術館の双方を巡ります。

会場：秋田市にぎわい交流館 AU・秋田県立美術館 各展示スペース

18:00～20:00 芹沢高志氏による修了研究展公開講評

本学大学院客員教授で、P3 art and environment 統括ディレクターの芹沢高志氏をお招きし、修了研究展の会場を巡りながら修了研究について院生とお話しいたできます。

会場：秋田市にぎわい交流館 AU 3階 多目的ホール

【出演者】 芹沢 高志 (大学院複合芸術研究科客員教授)

1951年東京生まれ。89年にP3 art and environment を開設。とかち国際現代アート展「デメーテル」総合ディレクター(02年)、アサヒ・アート・フェスティバル事務局長(03年～16年)、横浜トリエンナーレ 2005 キュレーター、別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合ディレクター(09年、12年、15年)、さいたまトリエンナーレ 2016 ディレクター、デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)センター長(12年～)などを務める。



2月16日(土)

13:00～14:30 景観デザイン専攻トークイベント「認めテイク」

この日本は働いて金を使い果たす社会になっていないか、消費社会のような一般化している様々な事柄に対して活動している松本哉氏をお招きし、多様化していく社会を認めていくことをテーマに学生とシンポジウム形式で対話しながら掘り下げます。

会場：秋田市にぎわい交流館 AU 4階 研修室1

【出演者】 松本 哉

1974年東京都生まれ。法政大学法学部第二政治学科修了。東京都杉並区高円寺のリサイクルショップ「素人の乱5号」店主。任意団体「貧乏人大反乱集団」主宰。日本の消費社会に疑問を持ち、独自のデモ活動などを行なっている。主な著書に『貧乏人の逆襲！タダで生きる方法』筑摩書房がある。



15:00～16:30 コミュニケーションデザイン専攻トークイベント「プロとして生きテイク」

大手広告企業博報堂アートディレクターの岡室健氏をお招きし、トークショーを行います。本学の水田圭准教授と学生を交えて、クリエイティブのプロが仕事で大切にしていることなどを聞いていきます。

会場：秋田市にぎわい交流館 AU 4階 研修室1

【出演者】 岡室 健

1978年東京都生まれ。2006年東京藝術大学デザイン科大学院修了、博報堂入社。東京 ADC 賞、2008年 JAGDA 新人賞 JAGDA 賞、TDC 賞準グランプリ、海外賞など受賞多数。紙の可能性を広げるために、さまざまな新しい技術を組み合わせたイノベーションプロダクト制作や、新しいメディア開発など、広告デザイン以外の活動も積極的に行っている。



15:00～16:00 **ステージイベント「あきた舞妓を輝かす—銀の花々 秋田銀線細工—**

修了研究として制作した秋田銀線細工の帯留めと簪をあきた舞妓さんに身につけていただき、ステージで踊りを披露していただきます。また、演舞だけではなく、舞妓さんとお座敷遊びや写真撮影なども予定していますので、ぜひこの機会に秋田の文化と工芸に触れてみてください。

会場：秋田市にぎわい交流館 AU 1階 まち発見・発信ステーション

【出演者】あきた舞妓（株式会社せん）

2月17日（日）

10:00～12:00 **ものづくりデザイン専攻トークイベント「カモス茶会」**

哲学者であり、本学の鞍田崇客員准教授を囲んで、お茶会を開きます。ローカルスタンダードの視点から秋田についてや美術についてなど、いろいろなお話を聞いちゃいます！

会場：秋田市にぎわい交流館 AU 4階 研修室1

【出演者】鞍田 崇（秋田公立美術大学客員准教授）

哲学者。1970年兵庫県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科修了。現在、明治大学理工学部准教授。近年は、ローカルスタンダードとインティマシーという視点から、現代社会の思想状況を問う。著作に『民藝のインティマシー「いとおしさ」をデザインする』（明治大学出版会 2015）など。

13:00～14:30 **アーツ & ルーツ専攻トークイベント「発掘しテイク」**

2019年のヴェネチア・ビエンナーレ出品作家である下道基行さんとプロジェクトの一員である本学の石倉敏明准教授をお招きし、トークを行います。本専攻が重きを置いているフィールドワークの展開、可能性について学生も交えながら探っていきます。フィールドから何を発掘し、どうアートに落とし込んでいるのか、現役アーティストの制作風景を聞ける貴重なチャンスです。

会場：秋田市にぎわい交流館 AU 4階 研修室1

【出演者】下道 基行

1978年岡山生まれ。2001年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。日本国内の戦争の遺構の現状を調査する「戦争のかたち」、祖父の遺した絵画と記憶を追う「日曜画家」、日本の国境の外側に残された日本の植民 / 侵略の遺構をさがす「torii」など、展覧会や書籍で発表を続けている。フィールドワークをベースに、生活のなかに埋没して忘却されかけている物語や日常的な物事を、写真やイベント、インタビューなどの手法によって編集することで視覚化する。

15:00～16:30 **ビジュアルアーツ専攻トークイベント「アートでどうやって食ってイク？」**

あなたは作品を「売った」ことある？

今年の卒業研究作品展を題材に、現代のアートマーケットのあり方を学びます。

会場：秋田市にぎわい交流館 AU 4階 研修室1

【出演者】飯田 高誉

フジテレビギャラリー（1980～90）にて草間彌生を担当。東京大学総合研究博物館小石川分館「アート & サイエンス」部門キュレーターを経て、京都造形芸術大学国際芸術研究センター所長、慶應義塾大学グローバルセキュリティ講座講師、青森県立美術館美術統括監、森美術館理事を務めた。現在、スクールデレック美術社会学研究所所長。



2月18日（月）

18:00～21:00 **修了研究発表会**

大学院生9名がそれぞれの修了研究についてのプレゼンテーションを行ないます。

【出演者】秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科教員、大学院修士課程2年生

会場：秋田市にぎわい交流館 AU 3階 多目的ホール